EARL'S ラウンドクーラー for HARLEY DAVIDSON SPORTSTAR

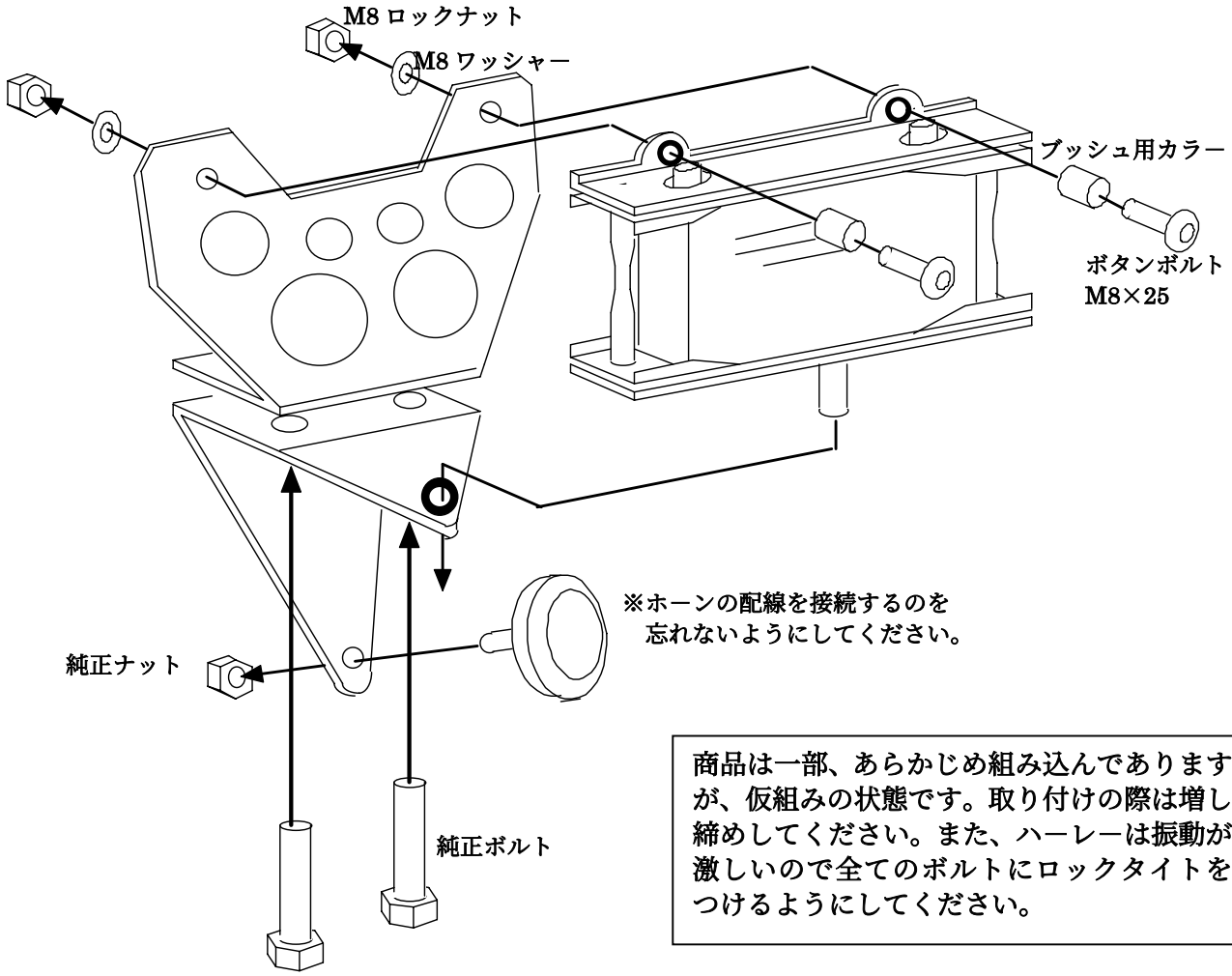
■はじめに

当オイルクーラーキットは **HARLEY DAVIDSON SPORTSTAR 883/1200** 用に設計されています。他モデルへの取付けはできません。また、94 年以前の車輌への装着は確認がとれていないので、お勧めできません。

■取付け手順

1.コアを車体へ装着します。

純正のホーンステーを取り外し、下図のようにオイルクーラーを取り付けます。



商品は一部、あらかじめ組み込んでありますが、仮組みの状態です。取り付けの際は増し締めしてください。また、ハーレーは振動が激しいので全てのボルトにロックタイトをつけるようにしてください。

2.オイルラインの接続

①オイルタンクの前方から 2 本オイルラインが出ていますが、太い方のホースを使用します。
オイルタンク下のパイプからオイルライン(太い方)を抜き、115～120mm の場所で切ります。
ちなみに細い方のホースはベントホースです。

② 切ったホースの端にエコノキャップとジョイントを差し込みます

120mm のホースを再度オイルタンクに差し込むときは付属のバンドを使用して下さい

③付属のオイルラインを接続します。

オイルライン・ロングをコア向かって左側へ、ショートを向かって右側へ取り付けます。

⚠注意

オイルラインを取り付ける際はフィッティング部、ボルト部にオイルを塗布してから取付てください。
これを怠りますとオイル漏れがおこる場合があります。

エコノキャップとジョイントを先程と同様に差込み接続させます。オイルライン・ロングをオイルタンク側へ、ショートをエンジン側のホースに接続します。

④取り回しの確認

付属のセパレーターとタイラップを使ってオイルラインに無理な力がかからないように取り回してください。また、マフラーやシリンダーに干渉しない様に注意してください。
付属の断熱材を干渉しそうな部分にステンワイヤー等で巻いて必ず保護してください。

オイルライン・ロングはエンジンハンガーの隙間を通すようにしてください。

3 オイル漏れと各部のチェック

エンジンを始動し、オイルをエンジン、オイルクーラーに回します。この時に各部のオイル漏れチェックをおこないます。エンジンを切りオイルが下がるのを待ちオイルゲージでオイル量をチェックし規定量に調整します。

⚠ 警告

オイル漏れは少量でも大変危険です。発見した場合は走行せず、直ちに認証工場にて点検･整備してください。

※ハンドルを左右にきったとき、フィッティング部がフォークに接触しないか確認してください。接触する場合はマウントステーとホーンステーが長穴になっているので位置ずらしてあたらないようにしてください。

■*パーツリスト*

付属部品	数量
コア本体 #6 9−10	1
オイルライン･ロング　　940mm　150−ナシ	1
オイルライン･ショート　810mm　150−ナシ	1
アッパーステー（刀用共通）	1
アンダーステー（XJR 用ピン付）	1
マウントステー	1
ホーンステー	1
ノールマバンド　８　１６−１０	1
#6 エコノキャップ	4
#6 セパレーター	1
ホースジョイント	2
サイドカラー	2
防振ラバー	4
ゴムブッシュ（刀用ブッシュ）	3
アルミカラー（刀ブッシュ用カラー）	2
断熱材	2
タイラップ 200mm	3
ボタンボルト M8×25	2
ボタンボルト M6×15	4
M8 ロックナット	2
M8 ワッシャー	2
M6 ワッシャー	4

要注意事項！

フロントフォークをボトムさせたとき、フルボトムより 10mm 手前でフェンダーに干渉します。そのためフロントフェンダーを後方から約 200mm 程カットする必要があります。

021016N02

株式会社アクティブ
愛知県日進市折戸町藤塚 56 番地 290　〒470−0115
TEL05617−2−7011　FAX05617−２−7012
ﾎｰﾑﾍﾟｼﾞｱﾄﾞﾚｽ http：／／www．acv．co．jp